

## ワ イ ル ド 書 誌

(1997年3月～1998年4月)

- 鶴岡 真弓 「女神モリガン——ワイルド母子のヒベルノフィリア」、『ジョイスとケルト』, 平凡社, 1997年3月。
- 佐々井 啓 「オスカー・ワイルドの服装——その装いと意識」、『服装美学』, 第26号, 服装美学会(お茶の水女子大学内), 1997年3月。
- 岩永 弘人 「ワイルドの芸術過剰防衛——『嘘言の衰退』の芸術と自然」、『東京農業大学一般教育学術集報』, 第27号, 東京農業大学, 1997年3年。
- Nakajima, Keiko. "Sherlock Holmes and Fin de siecle: Focusing on the Characterization and the Plot in *A Scandal in Bohemia*", 『大阪成蹊女子短期大学研究紀要』, 第34号, 1997年3月。
- 伊 藤 勲 「『社会主義の下における人間の魂』をめぐって——ワイルドの個人主義と批評主義——」、『東京成徳短期大学紀要』, 第30号, 1997年3月。
- 西本 鶏介 「童話に学ぶ人間の生き方—4— 死を考える心——オスカー・ワイルド『わがままな巨人』」、『エディ・ケア21』, 第3巻第4号, 栄光教育文化研究所, 1997年4月。
- 加来 洋子 「ロイヤル・オペラ『サロメ』再演, ゲオルギューの『愛の妙薬』, ミュンヘン『オテロ』でロイヤル・オペラにデビュー——ほか——イギリス通信」、『音楽現代』, 第27巻第9号, 芸術現代社, 1997年6月。
- 竹原 正三 「シャンゼリゼ劇場『フィガロの結婚』, シャトレ座『サロメ』——パリ・オペラ便り」、『音楽現代』, 第27巻第12号, 芸術現代社, 1997年8月。
- 山田 勝編 『オスカー・ワイルド事典』, 北星堂書店, 1997年10月。世界最初のワイルド事典。
- ニゲル・アンドリュース 'For Wilde read shy', *Financial Times*, 1997年10月16日。
- 梅津 義宣 「*The Sphinx Without a Secret: An Etching* 再考——世紀末・新派女性物語——」、『尚綱女学院短期大学研究報告』, 第44集, 尚綱女学院短期大学, 1997年12月。
- 南條 竹則 「『オスカー・ワイルド事典』を読む」、『英語青年』, 研究社, 1998年1月。
- 淀川 長治 「淀川長治の銀幕旅行——オスカー・ワイルド」、『産経新聞』, 1998年1月20日。
- 村上 昌美 「『オスカー・ワイルド事典——イギリス世紀末大百科——』の紹介」、『学

園情報』, 第 115 号, 麻布大学学園情報編集委員会, 1998年 2月。

富士川義之 「映画『オスカー・ワイルド』考——同性愛と破滅」, 『東京新聞』, 1998年 3月20日夕刊。

伊藤 勲 「ベイタリアン西脇順三郎——その批評主義の成り立ち——」, 『公評』, 1998年 3月。

伊藤 勲 「ベイタリアン西脇順三郎——その批評主義の成り立ち(2)——」, 『公評』, 1998年 4月。

## ワイルド情報

### ◆NHK 朝の連ドラにワイルドの言葉

NHKテレビ 朝の連続ドラマ『あぐり』(1997年 4月21日放送)の中で, 主人公あぐり(田中美里)が通学している岡山女学校の校長先生(佐々木功)が結婚についてのワイルド言葉を引用して, 「男は疲れているから結婚する。女は好奇心から結婚する。そしてどちらも失望する。」と述べている。

### ◆ヘミングウェイの「真面目が肝心」

*Asahi Evening News* (1997年10月16日)は, 『ニューヨーク・タイムズ』特約記事(ステューブ・ホールデン著)としてアーネスト・ヘミングウェイの自伝映画 “In Love and War” (『ラブ・アンド・ウォー』: 1997年10月公開)の紹介記事を ‘Importance of Being Ernest’ というタイトルで掲載した。

### ◆ビデオ『サロメ』

ファミリー音楽産業株式会社(東京都千代田区神田駿河台3-2 山崎ビル ☎03-3253-4888)はVHSビデオ「オペラ大全集」(2千タイトル全33巻組)を発売(1997年10月)。第16巻に『楽劇《サロメ》』(作曲: R. シュトラウス, 指揮: ベーム, 演出: フリードリッヒ, 演奏: ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団, 出演: ストラータス(ソプラノ), ヴァイクル(バリトン), ヴァルナイ(メゾソプラノ)他)。

### ◆サロメの挿絵

東京・伊勢丹美術館で「ビアズリーと世紀末展 怪奇=エロス=顔癩」(1997年11月6日~30日)が開催され, 『サロメの挿絵』が展示された。

### ◆さんまがワイルドの言葉

日本テレビの「恋のから騒ぎ」(1998年 2月21日)で, 司会の明石家さんまが, 「男は疲れているから結婚する。女は好奇心から結婚する。そしてどちらも失望する」というワイルドの言葉を紹介した。

### ◆ワイルドの肖像画

川崎市市民ミュージアムで「オーブリー・ビアズリー展 世紀末芸術の華」(1998年 2月21日~4月5日)が開催され, ワイルドの肖像画が展示された。

### ◆サロメのレリーフ

ビアズリーの『サロメ』のイラストをモチーフにしたレリーフが「スナック 忍」(東京都豊島区池袋2-4-1 越路ビル3F)に展示されている。

### ◆映画『オスカー・ワイルド』

1998年 3月21日イギリス映画『オスカー・ワイルド』がシネスイッチ銀座で封切り。監督: ブライアン・ギルバート, 脚本: ジュリアン・ミッチェル。上映時間: 1時間57分。

[出演] オスカー・ワイルド: スティーブン・フライ, アルフレッド・ダグラス(ボジー): ジュード・ロウ, エスベランザ: ヴァネッサ・レッドグレイプ, コンスタンス: ジェニファー・エイル, ロバート・ロス: マイケル・シーン, アダ・レヴァソン: ゴーイ・ワナメイカー, クインズベリー侯爵: トム・ウィルキンソン他。

### ◆ケルト美術展

東京・東京都美術館で「ケルト美術展——古代ヨーロッパの至宝」が(1998年 4月18日~7月12日)が開催された。日本で初めての本格的なケルト美術展。

### ◆インターネットのワイルド

photographs of Oscar Wilde at the Clark Library <http://www.humnet.ucla.edu/humnet/clarklib/wildphot/default.html>.

(千葉 剛・佐々木 隆)

